

4-2 伊豆半島付近の地震活動（1999年5月～1999年7月）

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (May, 1999-July, 1999)

東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

5月より7月の主要な活動としては7月28日頃からの伊豆大島の東側の群発活動があげられる。さらに大島では8月に、西側で群発活動があった。第1図に、伊豆半島とその周辺の震源分布図を、第2図に時系列、第3図に伊豆大島の地震活動を示す。

1. 新島付近の地震（第1図）

新島、神津島付近では地震活動が続いているが、この期間では大きな活動はなかった。新島の北側の海域で7月2日にM4.3の地震が発生している。

2. 伊豆大島の地震（第3図）

7月28日より伊豆大島の東岸で群発地震が発生している。震源域の中央より起こり、震源は南北に、数時間ごとに行ったり来たりしながら、南北に約3kmほど広がっている。活動は30日、31日に集中している。深さは500mから2kmほどで浅い。マグニチュードの大きい地震は発生していない。最大地震は7月30日22時00分のM3.3で深さが1.5kmの地震である。

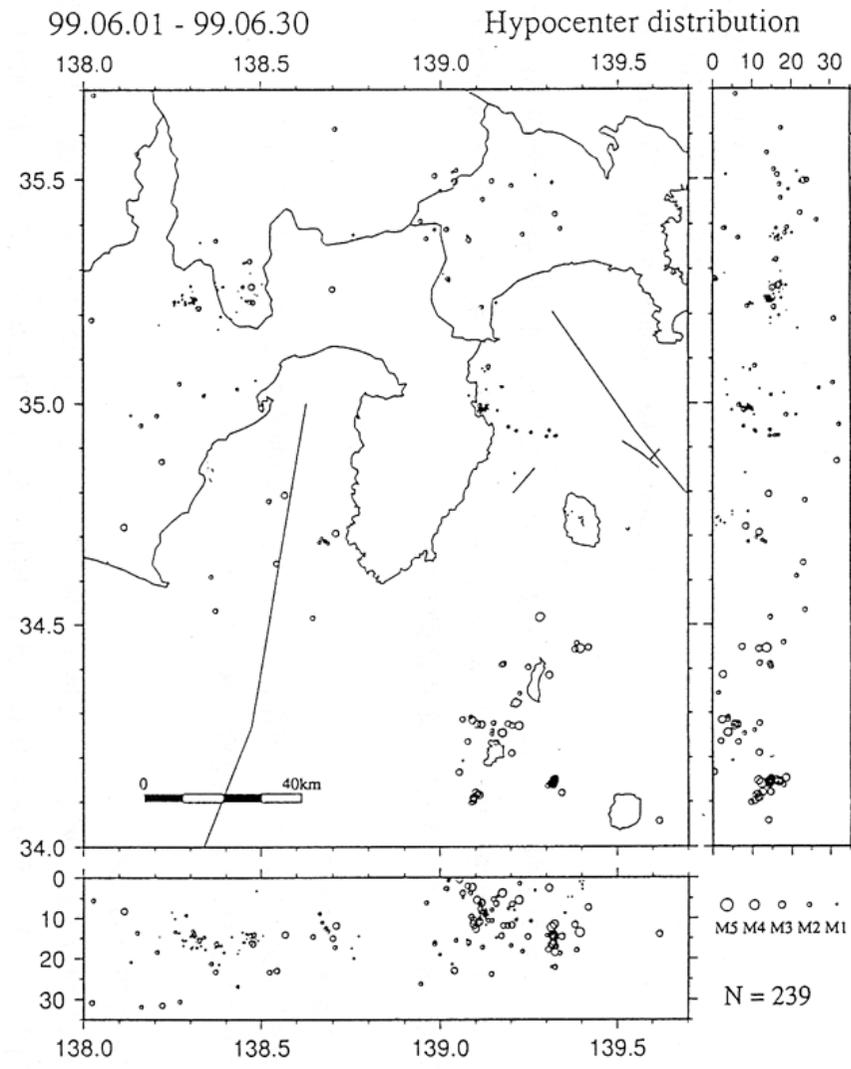
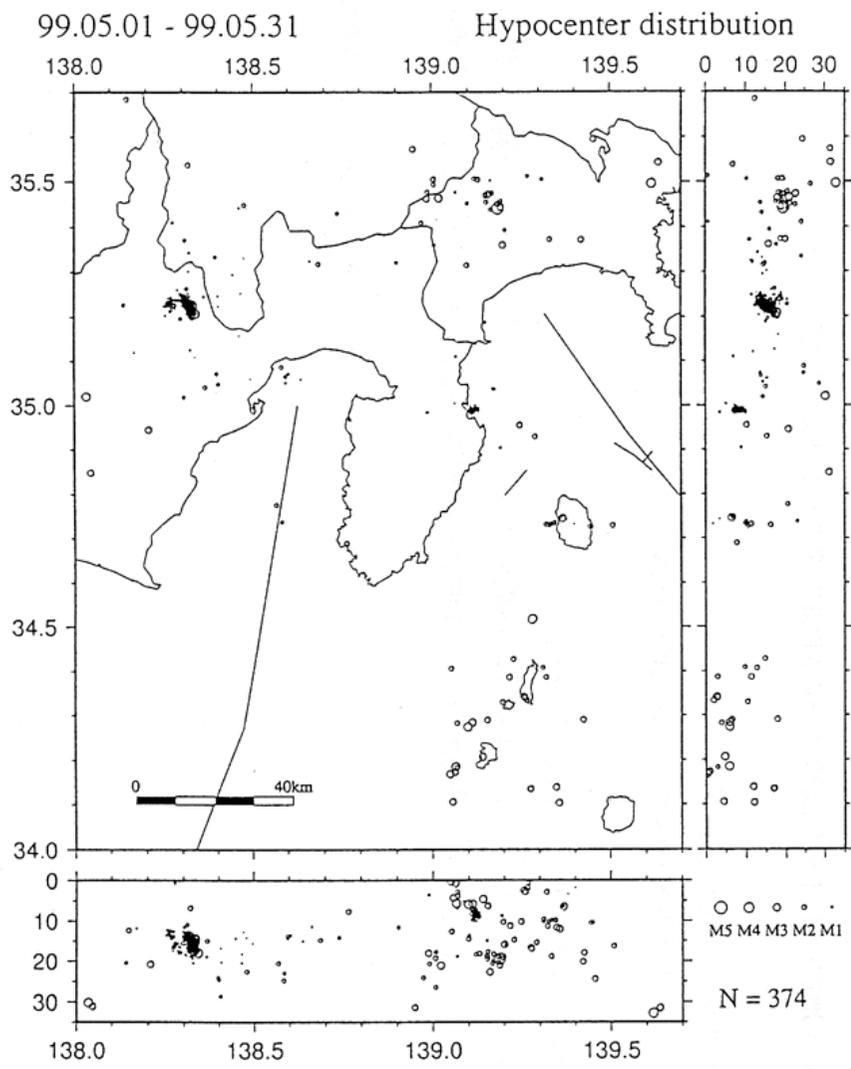
3. 神津島の東側、海域の地震（第1図）

神津島と三宅島の間の海域で、6月に群発地震が発生した。

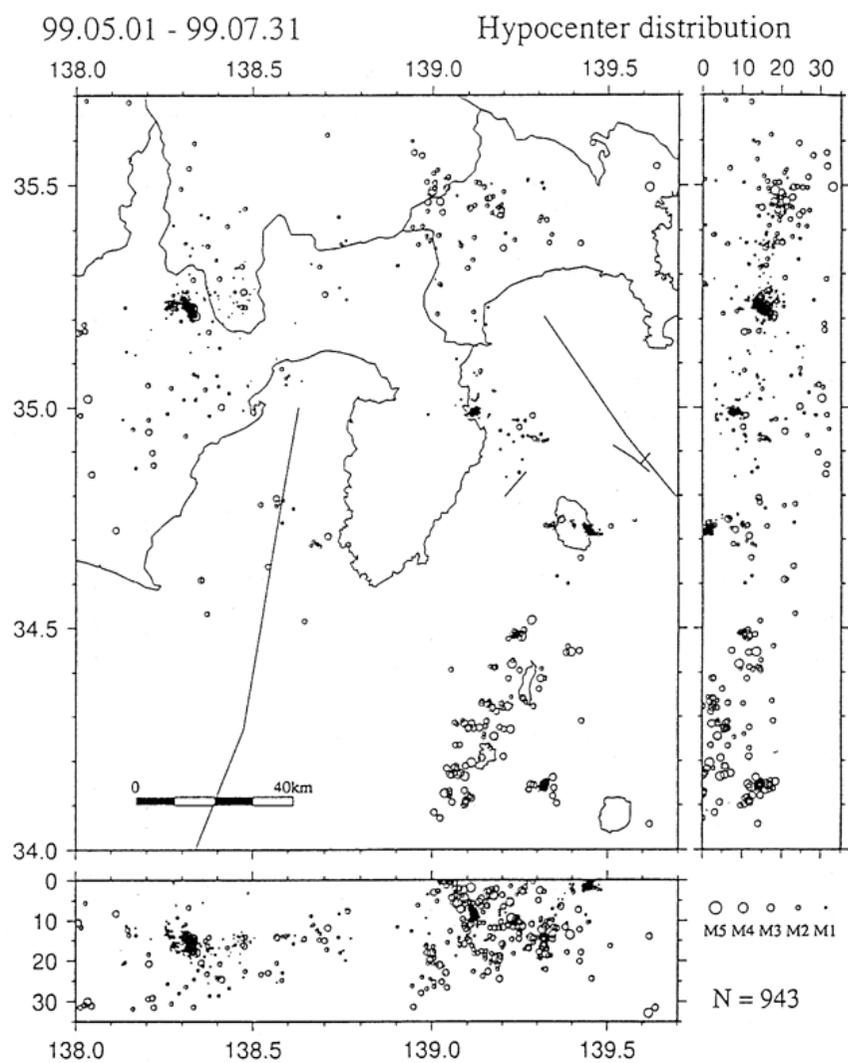
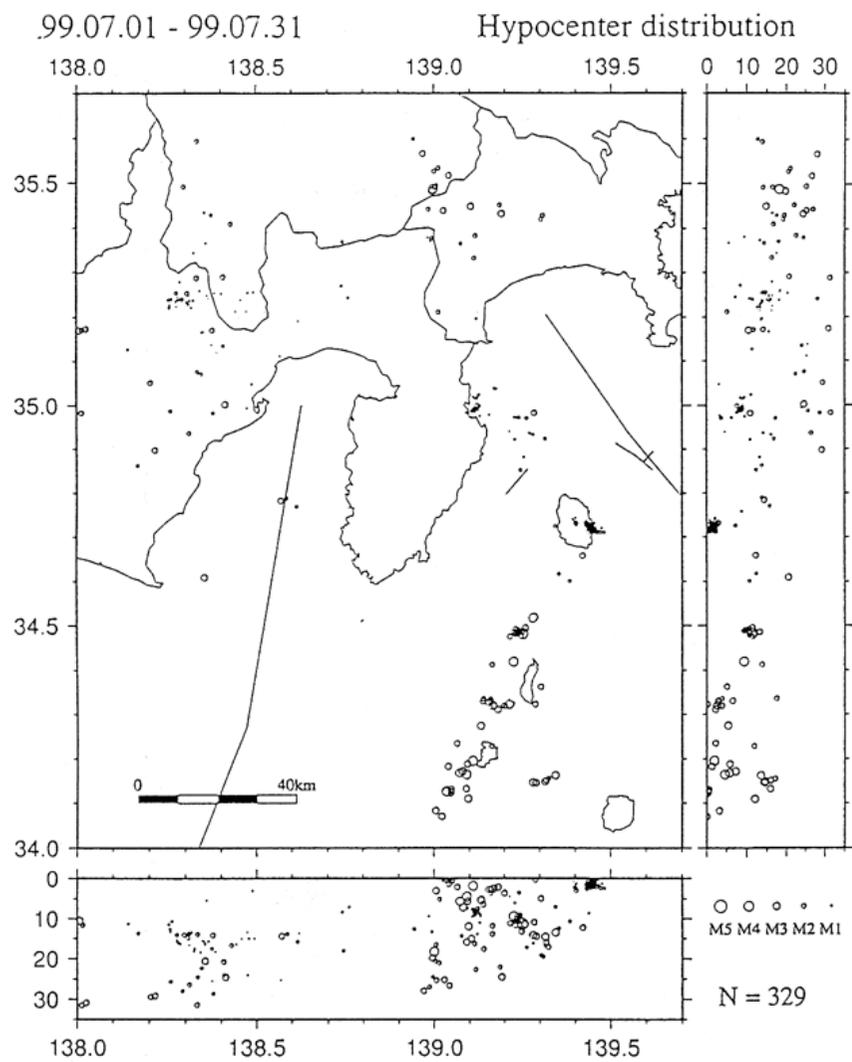
4. 伊東港付近の地震活動（第1図、第2図）

1997年6月より発生している伊東港沖の地震活動は、その後も低いレベルで継続しているが、この期間も続いている。伊豆半島東方沖では地震は散発的に起きていて、活動は静穏である。

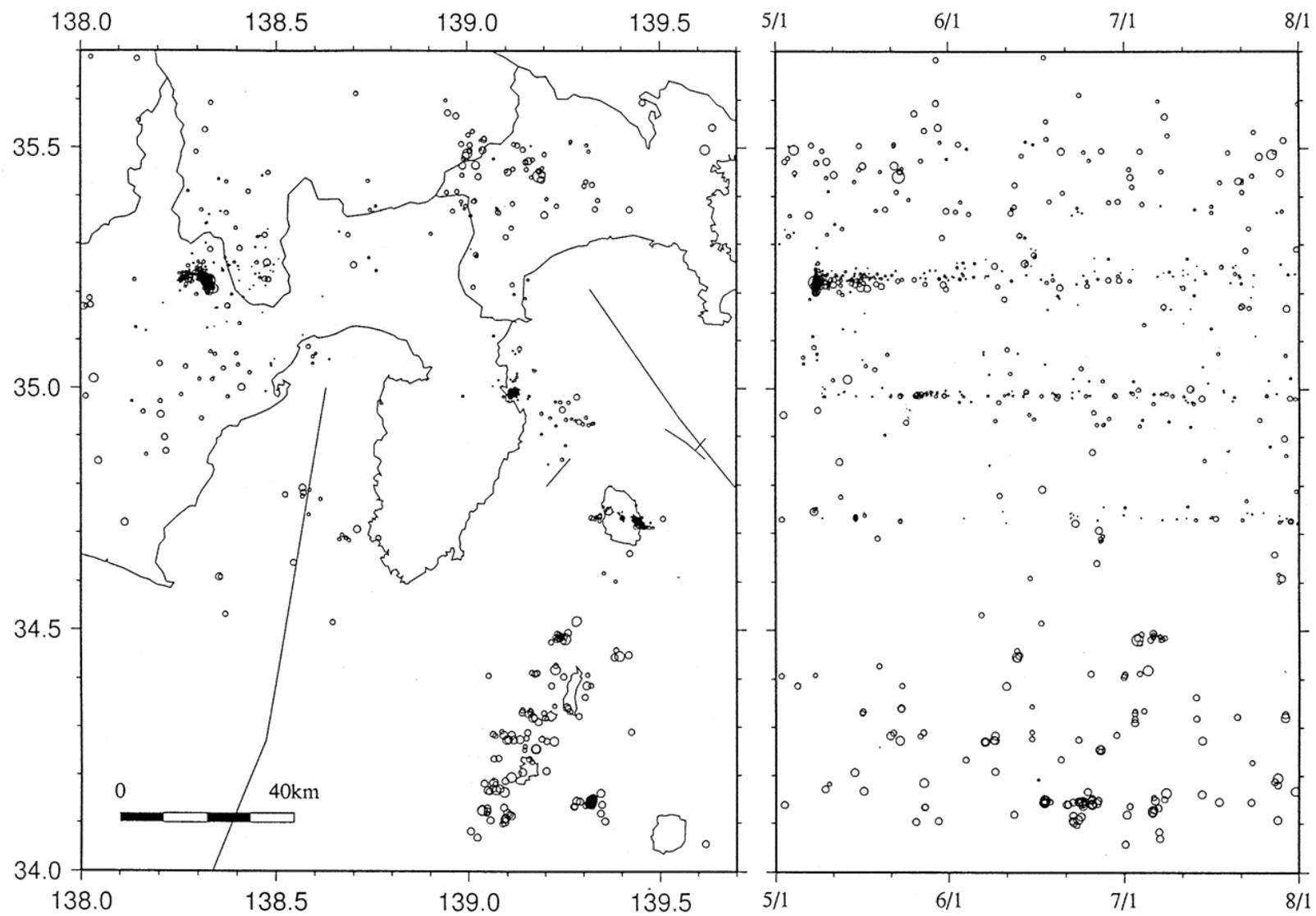
（荻野 泉，萩原弘子，酒井慎一）



第1図 伊豆半島とその周辺の地震活動 (1999/5~1999/7)
 Fig.1 Seismicity in and around the Izu Peninsula (1999/5-1999/7)

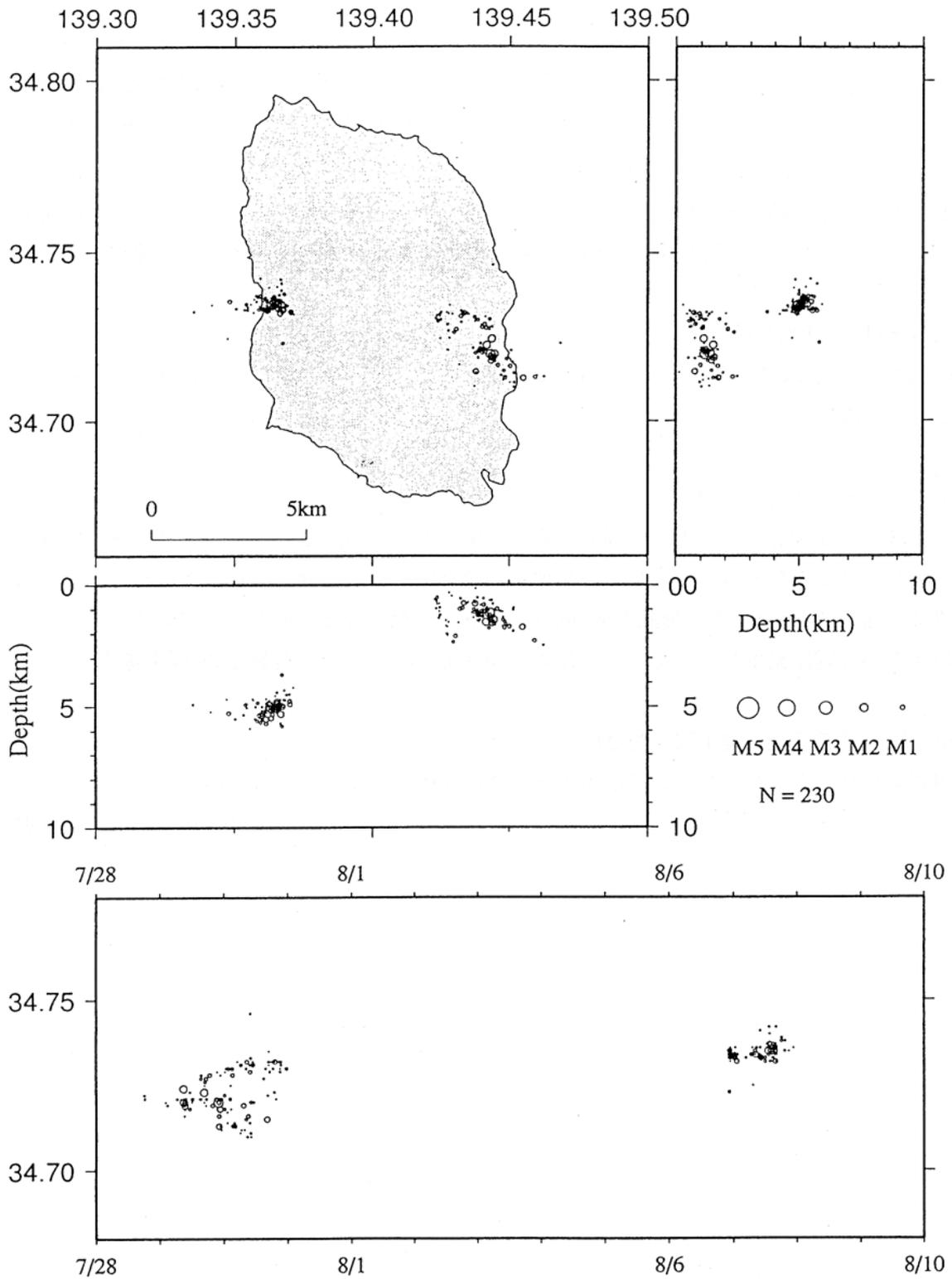


第1図 つづき
Fig.1 (continued)



第2図 伊豆半島とその周辺の時空間分布図 (1999/5~1999/7)

Fig.2 Time-Space distribution in and around the Izu Peninsula (1999/5-1999/7)



第3図 伊豆大島の地震活動 (1999/5~1999/8)

Fig.3 Seismic Activities in the Izu-Oshima island (1999/5-1999/8)